

山種美術館でおめでたく幸せな展覧会「ゆかいな
若沖・めでたい大観―HAPPYな日本美術―展

思わず笑みがこぼれてしまふような絵画を一堂に集めた特別展「伊藤若沖生誕300年記念 ゆかいな若沖・めでたい大観―HAPPYな日本美術―」が、山種美術館（東京都渋谷区）で、3月6日まで開催されている。

日本美術は、祭事や婚礼のような慶事、日常の中でも、さまざまな吉祥画題を縁起物として描いてきた。その中から、長寿や子宝、富や繁栄などを象徴する美

術に焦点をあて、鶴亀、松竹梅、七福神などを描いた作品約70点を紹介する。

初公開作品を含む伊藤若沖の墨画、歌川国芳のユーモアあふれる猫や金魚の戯画、富士山の堂々たる姿を描いた横山大観の作品など見所は多彩。

江戸時代から近世・現代まで「HAPPY」をキーワードに日本美術を見る。入館料は、一般1200円、大高生900円、中学生以下無料。問い合わせは、ハローダイヤル ☎03・5777・8600。

須坂アートパークで
三十段飾り千体の雛祭り

須坂アートパーク（長野県須坂市）では、「三十段飾り千体の雛祭り」を開催中。パーク内の世界の民俗人形博物館（4月17日まで）と須坂版画美術館（5月8日まで）の2館に、高さ6メートルにもなる三十段雛飾りを展示。豪華絢爛な雛人形1000体が飾られ、歴史的建物園にも飾られるお雛様と合わせると、須坂アートパーク全体で約6000体になる。

入館料は、500円（共通券）、中学生以下無料。問い合わせは、世界の民俗人形博物館 ☎026・245・2340。

国内外から約10万株を集めた
世界らん展日本大賞2016

世界各地からさまざまなランを集めた世界最大級のランの祭典「世界らん展日本大賞2016」が、2月13日〜19日に東京ドームで開催される。

今年のテーマは「らんを楽しむ。暮らしを彩る」。カーニバルをイメージしたオーキッド・ロードや特別展示「世界最大の蘭と極小の蘭」など見所が満載。約3000種10万株の蘭を一堂に展示。

入場料は、大人2200円、大高生1300円、イブニング券（15時以降）1700円。問い合わせは、同展事務局 ☎03・3591・0551。



伊藤若沖《群鶏図》（左隻）
1795（寛政7）年頃
紙本・墨画



歌川国芳《きん魚づくし ぼんぼん》1842（天保13）年頃 中判錦絵
[2月9日〜3月6日展示]



恋人の聖地ともいわれる
須坂アートパークが会場



2015日本大賞花